

目指す姿1 それぞれの豊かさに出会い、自分らしく育む ー誰もが文化芸術と触れ合い、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井

① 県民主体の活動の振興

(1) 文化芸術活動実践者への支援の充実

○分野を超えた総合型文化祭の開催

- ・福井県文化協議会との共催により「ハーモニー文化フェス」を開催
R6.10.12～13メインフェスティバル、11.9 サブフェスティバル(会場:県立音楽堂)
【参加者数】1,000人(23分野、50団体) 【来場者数】3,000人

○県民の自立的・継続的な文化芸術活動への支援

- ・アートプロジェクト支援事業助成金による団体の活動支援 【採択件数】33件(申請56件)
- ・文化芸術活動に関する研修やネットワークづくりのための交流会を開催
3回開催 【参加者数】計 58名(2回開催時点)
- ・芸術文化アドバイザーによる助言 相談対応件数:34件(12月末現在)
- ・アーティスト・コーディネーターとして、地域おこし協力隊1名を委嘱(1名から2名に増)

(2) 文化芸術活動への参加促進

○アーティスト人材データベースの充実・活用促進

- ・データベース登録件数 94件(2月末現在)(R5年度から8件増)
- ・プランに関する意見交換会、企業向けセミナーなどの機会をとらえて活用を呼びかけ

○アートコミュニケータの活動促進

- ・アートコミュニケータ講座を開催(1日目:講演、2日目:ワークショップ) 【参加者数】のべ37名

○アマチュアプレーヤーの発掘と仲間づくり支援

- ・市町ホールを拠点とする音楽サークルの設立・運営を支援
R5年度までに7市町で設立した音楽サークルについて、自立に向けた運営支援や相談対応を実施 【サークル参加者数】166人(12月末現在)



ハーモニー文化フェス(ワークショップ)



軽音楽サークル(美浜町)

R7年度の 主な取組み

- ・アートプロジェクト支援について、福井県文化振興事業団に設置する「ふくい文化創造センター」の事業として実施
専門スタッフを配置し、相談・助言等の伴走支援を強化
- ・アーティスト人材データベースの利活用を促進するため、データベースを活用した催事団体に奨励金を支給

令和6年度文化振興施策の実績と令和7年度の主な取組み

目指す姿1 それぞれの豊かさに出会い、自分らしく育む ー誰もが文化芸術と触れ合い、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井

② 県民すべての表現・参加機会の拡大

(1) 多様な担い手による創造的な活動の促進

○多様な担い手の作品を一堂に展示する展覧会の開催

・「まるまるつながるアートてん まる」を開催

本展: R6.12.20~R7.1.5 県立美術館 【来場者数】1,947人

選抜展: R7.3.7~3.15 プラザ萬象

○障がい者アートを活用した商品開発の支援

・障がい者アートを活用した商品プランコンテストを開催 【支援件数】4件

○文化芸術を活用した高齢者の生きがいづくりや介護予防・健康づくりへの支援

・地域文化活動や多世代間交流活動等を行う高齢者の団体を支援(助成) 【採択件数】26件

(2) 誰もが文化芸術に親しめる環境の整備

○県立文化施設において収蔵資料等のデジタルアーカイブ化を推進

・県立文化施設4館で約80点の館蔵資料をデータ化

○地域の貴重な資料の散逸を防ぐための共同調査・研究

・県立文化施設の学芸員や外部専門家らが連携し、永平寺所蔵資料の調査を実施



まるまるつながるアートてん まる



県内文化施設の各種情報、デジタルアーカイブを掲載するホームページ「FUKUI MUSEUMS」

R7年度の
主な取組み

・高齢者の活動発表の場としてシニア応援文化祭を新たに開催

令和6年度文化振興施策の実績と令和7年度の主な取り組み

目指す姿2 ここにある輝きを、これからへ贈る —みんなで地域の文化を守り、育て、未来へ引き継ぐ福井

③ 文化芸術を振興する次世代の育成

(1) 次世代の育成

○子どもたちが文化芸術に触れる機会を創出

- ・未就学児～小学校低学年を対象にしたコンサートを市町と連携して開催
6回開催【参加者数】計 1,919人
- ・小学校の校外学習に活用できる音楽堂でのミニコンサート鑑賞会、ホール探検ツアーを開催
ミニコンサート鑑賞会：4回開催【参加者数】計 738人
ホール探検ツアー：5回開催【参加者数】計 193人
- ・中学校・高校の文化部活動にプロのアーティストを派遣
のべ42校で実施【参加者数】計2,059人
- ・ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の公演前に子どもたちを対象とした公開リハーサルを実施
【参加者数】525名
- ・小学校、特別支援学校を訪問してドラムサークル体験会を開催 3校で実施【参加者数】231人
- ・県立文化施設の学芸員による出前講座を開催 23校で実施【参加者数】880人

○文化芸術系の進路を希望する子どもたちを応援【トライアル】

- ・アート系の職業について知り、体験する中高生向けのキャリア教育プログラムを実施
4回シリーズ講座(美術家、デザイナー、学芸員、イラストレーター)【参加者数】32名

(2) 若手アーティストの育成

○福井の若手作家の東京個展

- ・県内で活動する若手作家の中から公募で2名を選定し、東京での個展開催を支援
応募総数：7名
東京個展：R7. 2. 3～2. 15 東京銀座のギャラリーにて開催【来場者数】282人



ミニコンサート鑑賞会



アートキャリア講座

R7年度の
主な取り組み

・「子ども文化芸術体験1万人プロジェクト」と銘打ち、子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を拡充

令和6年度文化振興施策の実績と令和7年度の主な取組み

目指す姿2 ここにある輝きを、これからへ贈る —みんなで地域の文化を守り、育て、未来へ引き継ぐ福井

4 有形無形の文化財や文化的・歴史的景観の保存・継承

(1)市町や所有者、保存会等による地域の文化の計画的な保存・活用への支援

○地域ならではの景観づくりを支援

- ・地域の特徴を活かした景観づくりに取り組む市町を支援 7市町、1団体
- ・伝統的民家群保存活用推進地区内での景観づくりを支援 11件、1団体を派遣

○有形・無形の文化財の保存・継承を支援

- ・国・県指定文化財の管理者を対象に、文化財の修理等に関する経費を支援 38件
- ・無形民俗文化財の保存会を対象に、継承や後継者育成、映像作成等の経費を支援 9件
- ・文化財のパンフレット作成や多言語化等の取組みを支援 4件

○地域の伝統行事の観光活用等を伴走支援【トライアル】

- ・専門業者とともに、地域の伝統芸能等の保存団体による観光活用等の取組みを伴走支援 3件



観光活用の取組を支援した放生祭（小浜市）

(2)地域の文化を支える人材の確保

○伝統の技術・技能を継承する人材を育成

- ・文化財修理技術者育成のための研修会を開催
3回開催【参加者数】のべ51人
- ・伝統工芸に携わりたい若者等を対象とした「伝統工芸職人塾」を実施
【参加者数】長期塾生15名、短期塾生12名
- ・若手職人のモチベーション向上を図るセミナーやコンペ形式の公募展等を開催
セミナー・交流会【参加者数】77人
クラフトコンテスト【応募件数】11件



文化財技術者向け見学会・研修会

R7年度の
主な取組み

・国・県指定文化財の保存団体に対し、専門業者とともに観光活用等の取組みを伴走支援

令和6年度文化振興施策の実績と令和7年度の主な取組み

目指す姿2 ここにある輝きを、これからへ贈る —みんなで地域の文化を守り、育て、未来へ引き継ぐ福井

5 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造

(1) アートを活かしたまちなかの活性化

○まちなかステージの設置支援

- ・誰もが自由に文化芸術活動の発表ができるステージの設置を支援
新たに2市町(坂井市、おおい町)にステージを設置(累計8市町に設置済)
【ステージ出演者数】のべ1,600人(12月末現在)

○若者文化を活用した地域活性化の取組み支援

- ・サブカルを活用して街なかの新たな賑わい創出を目指す団体を支援
R6.8.11「FUKUIサブカルフェス」2024開催(会場:敦賀市きらめきみなと館)
【来場者数】約2,500人

○芸術系の県外学生と県内学生の交流推進

- ・武蔵野美術大学との連携により、県内外の学生が交流しながらアートワークショップを企画し、「まるまるつながるアートてんまる」会場で実施(2日間、会場:県立美術館 貸展示室)
【来場者数】約300人

(2) 文化施設の機能充実

○県立文化施設の機能強化に向けたあり方検討

- ・外部有識者にも意見を求めながら、県立美術館、県立歴史博物館の目指すべき方向性を検討
⇒年度末までに美術館の基本的方向性をとりまとめ

○文化施設間のネットワーク構築とさらなる利用促進

- ・県立文化施設5館で利用できる「福井県ミュージアムパスポート」を運用 【利用者数】1,006人
- ・県立博物館・美術館を周遊するバスツアーを造成 8件 【ツアー参加者数】139人



まちなかステージ(おおい町)



県立美術館あり方検討会でのイメージ図

R7年度の 主な取組み

- ・県立文化施設のあり方検討の結果を踏まえ、機能強化改修に向けた具体的な基本計画等を策定

令和6年度文化振興施策の実績と令和7年度の主な取組み

目指す姿3 文化でつながる。文化でつくりだす。—文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井

⑥ 文化芸術に交流機会の拡大

(1) 地域プロジェクト型アート活動への支援

○県内におけるAIR拠点の形成

- ・国内外のアーティストが参画する「熊川宿若狭芸術祭」を開催
R6.8.20～9.30 臨場展(公開制作と成果発表展)【来場者数】2,470人
R6.9.23 おむすびコンサート(音楽キャラバン隊による演奏会とアウトリーチ)【参加者数】計305人
- ・永平寺町における「ZEN AIR EIHEIJI」の実施
滞在アーティスト2名を選出(応募件数 109件)
地域住民との交流を図りながらリサーチ活動、公開制作、成果発表展などを実施



熊川宿若狭芸術祭

(2) 文化芸術を最大限活用した文化観光の推進

○新幹線開業効果の最大化に向けた県立文化施設の誘客強化

- ・新幹線開業記念特別展の開催
- ・県立文化施設ホームページの多言語化(歴史博物館、若狭歴史博物館) ※美術館、一乗谷はR5までに対応済
- ・県立文化施設において多言語化した音声ガイドの運用を開始
- ・インバウンドモニターツアーの催行 1回【参加者数】10人
- ・「御乗印帳」の販売(越美北線との連携)【販売数】170冊

(3) 国際的な文化交流の充実

○ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の公演誘致

- ・本公演の開催(R6.11.10)【参加者数】1,456人
- ・子どもたちを対象とした公開リハーサルの開催(R6.11.10)【参加者数】525人
- ・楽団と交流する歓迎レセプションの開催、西武福井店でのウィーン菓子フェア開催による県内への効果波及

○Fukuiレポーターズによる国内外への情報発信

- ・本県在住の外国人に「Fukuiレポーターズ」を29名委嘱



ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団公演チラシ

R7年度の 主な取組み

・「熊川宿若狭芸術祭」について、熊川宿内の遊休施設を制作・展示会場として活用するとともに、地域との連携企画を加えるなどして内容の充実と規模の拡大を図る

令和6年度文化振興施策の実績と令和7年度の主な取組み

目指す姿3 文化でつながる。文化でつくりだす。—文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井

7 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化

(1)文化芸術活動を応援する企業の拡大

○企業向け文化芸術セミナーの開催

- ・企業経営者等に文化芸術を支援する意義や効果について理解を深めてもらうため福井商工会議所と連携してセミナーを開催(3回シリーズ)

【参加者数】のべ99人

(2)文化芸術と地域経済の有機的な連携創出

○デザイナー、アーティストと企業等とのビジネスマッチング促進

- ・デザイン導入の少ない企業に対し、デザインセンターが仲介役となってデザイナーを派遣 21回実施(4社)、グループカウンセリング 7回実施(4グループ)
- ・デザインの活用について、企業経営者層の理解促進を図る講座を開催
実践講座:全12回開催 【受講者数】21名
デザインレクチャー:全14回開催 【参加者数】38名

○クリエイターの交流拠点を開設

- ・福井駅前にクリエイターが気軽に集まり交流できる拠点を開設
R6.11.13 ふくいクリエイティブホーム「Cream」開設
【利用件数】270件 (1月末現在)

○産業観光ビジネス支援

- ・体験メニュー開発に取り組む企業への支援 【支援実績】4件



ビジネスパーソンのための文化芸術セミナー



ふくいクリエイティブホームCream

R7年度の 主な取組み

- ・福井商工会議所等との連携により、企業向け文化芸術セミナーを継続開催するとともに、企業による文化芸術活動を促進するための方策について、企業、団体、行政がともに検討を行う勉強会を設置